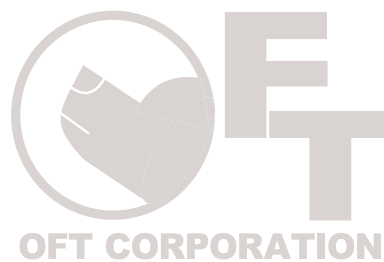


キヤットロボット取扱説明書



故障の原因となりますので、コントロールパネルの保護フィルムは剥がさないで下さい。保護フィルムを剥がして使用し、故障した場合は、保証対象外となりますのでご注意下さい。



キャットロボット取扱説明書

- ・この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に保証書の内容をご確認・ご了承下さい。また説明書の内容を十分理解した上で正しく使用し、この説明書はお手元に大切に保管して下さい。

使用上の注意

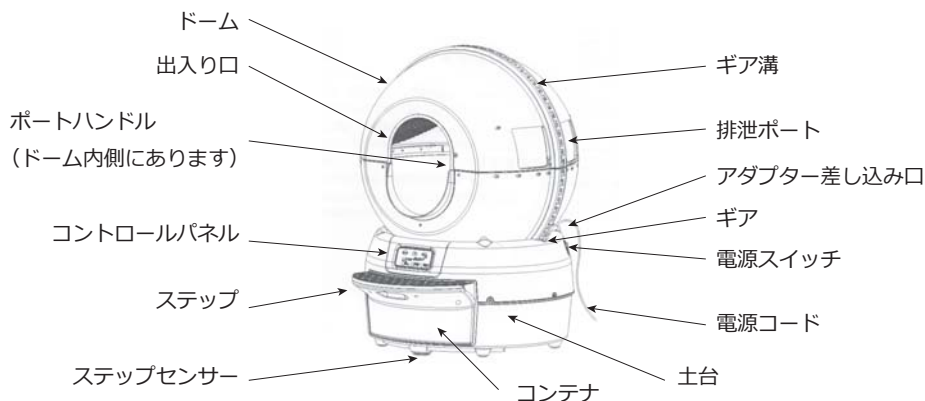
- ・安全にお使いいただく為に、必ず説明書をよくお読みになり正しくお使い下さい。また、以下の注意事項は必ず守って使用して下さい
- ・**土台の透明フィルムは防水の為に貼ってありますので、剥がさないで下さい。剥がすと保証の対象外となります。**
- ・本製品は体重が2.2~7kgまでの猫に対応しています。体重が2.2kgに満たない、または7kgを超える猫には使用しないで下さい。
- ・本製品は鉱石系の固まるタイプの砂専用です。鉱石系以外の砂はうまく作動しない場合があります。また、固まらないタイプの砂は絶対に使用しないで下さい。故障の原因となります。
- ・ドーム内部にはトイレ用の砂以外は入れないで下さい。破損や故障の原因となります。
- ・感電の危険がありますので、本体を濡らしたり、濡れた手で使用しないで下さい。また、分解、改造は絶対にお止め下さい。
- ・開封後、梱包材は適切に処分して下さい。窒息等の危険があるので、小さなお子様やペットがビニール袋で遊ばないようにご注意下さい。
- ・この取扱説明書に記載されている付属品以外の物は使用しないで下さい。また、取扱説明書に従って正しく取り付けて下さい。
- ・本製品は猫用の自動トイレです。猫以外の動物、トイレ以外の用途に使用しないで下さい。
- ・室内でのみご使用下さい。また、必ず平らな安定する場所に設置してご使用下さい。不安定な場所に設置すると、転倒して怪我や破損の原因となります。
- ・必ずフローリングなどの固い地面に設置し、カーペットや段ボールの上など柔らかい物の上には設置しないで下さい。
- ・ペットが本製品の上に乗ったり、飛びかかったりしないようご注意下さい。また本製品に重い物を乗せたりしないで下さい。
- ・構造上隙間がある部分がございます。隙間に手や指、ペットが足などを挟まないようご注意下さい。
- ・回転中はドームを外したり、押さえつけたりしないで下さい。怪我や破損の原因となります。
- ・商品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損や本製品に異常がない事を確認してからご使用下さい。
- ・定期的に各部の点検・清掃を行ってご使用下さい。長期間使用していなかった場合などは、必ず試運転をしてからご使用下さい。

内容物 / 各部名称

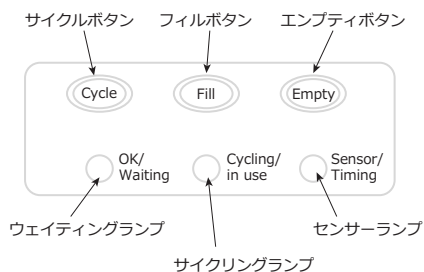
【内容物】

- ・キャットロボット本体
- ・ACアダプター
- ・コンテナ用袋（コンテナに装着されています）
- ・出入口補強プレート（ドームに装着されています）
- ・取扱説明書（本書）
- ・保証書

【各部名称】



コントロールパネルの説明



「サイクルボタン」：手動でクリーニングサイクルを実行する時に使用します。サイクル実行中にいずれかのボタンを押すと、サイクルが一時停止されます。もう一度サイクルボタンを押すとサイクルを再開します。フィルボタンかエンプティボタンを押した場合は待機位置へ戻ります。

「フィルボタン」：砂を補充する時に使用します。フィルボタンを押すとドームが反時計回りに回転し排泄ポートを上に向けた状態で停止します。もう一度フィルボタンを押すと待機位置へ戻ります。

「エンプティボタン」：砂を全て取り除く時に使用します。エンプティボタンを押すとドームが時計回りに回転し排泄ポートを下に向けた状態で停止します。もう一度エンプティボタンを押すと待機位置へ戻ります。
※エンプティボタンを使用するときは**排泄ポートを手動で開けてから**押して下さい。

「ウェイティングランプ」：緑色のランプです。点灯中は待機状態であることを意味します。

「サイクリングランプ」：黄色のランプです。点灯中は何らかのサイクルが稼働中であることを意味します。

「センサーランプ」：赤色のランプです。点灯中はステップセンサーに反応があった事を意味します。点灯してから7分後にクリーニングサイクルが実行されます。
※7分のカウントダウン中に再びステップセンサーに反応があった場合は、その時点から7分後にサイクルが始まります。
また、カウントダウン中にいずれかのボタンを押すとカウント状態をキャンセルできます。

使用方法

【本体の組み立て】

- ・土台を平らで水平な地面に置きます。フローリング等の固い地面に置き、カーペット等の柔らかい物の上には置かないで下さい。
- ・ドームを土台の上に置きます。この時、ギア溝とギアがしっかりかみ合っている事を確認して下さい。
- ・コンテナにコンテナ用袋を取り付けます。コンテナの周囲に切れ込みの入ったゴムが付いていますので、ここにビニール袋の淵を押し込むようにして装着します。※4.5リットルのビニール袋が付属していますが、付属以外の袋を使用する場合は、同じような形状でコンテナに装着できる物をご使用下さい。



【出入口補強プレートの装着】

- ・出入口補強プレートはお好みで使用して下さい。ただし、猫の出入りの妨げになる時は使用しないで下さい。(梱包時は装着された状態になっています)
- ※写真は白いプレートを使用していますが実物は黒色です。

- ①右図のように出入口補強プレートを横にして差し込みます。



- ②ゴムの部分を重ね合わせて右図のように回転させます。



- ③ドームの出入口のゴムとハンドルの隙間に差し込まれているのを確認して下さい。



【猫をキャットロボットに慣れさせる方法】 ※必ずしもこの方法が効果的ではありません。方法の一つとして参考にして下さい。

- ・キャットロボットを設置します。(今まで使用しているトイレがあれば、そのトイレのそばに設置します)
 - ・確認サイクルが終了しましたら電源スイッチをOFFにし、停止状態でネコにキャットロボットを1～2日間見せ、慣れさせます。
 - ・何も興味を見せない場合は、キャットニップや好きなおやつなど気を引きます。
 - ・ネコが警戒しなくなり、近づくようになったらネコ砂を中に投入します。この際今まで使用していたネコ砂があれば少量を表面にかけておきます。これは今まで使用していた臭いで安心させる為です。
 - ・ネコがキャットロボットを使用したら電源を入れて回転させます。(電源を入れるとサイクルを始めます)ネコがそばにいたら回転の様子とそのときの音を聞かせて慣れさせると効果的です。待機位置に戻ったら電源をOFFにします。
 - ・何回か繰り返したら、電源を入れたままにして使用して下さい。
- ※一度でもキャットロボットを使用しましたら、今まで使用していたトイレは処分して下さい。

【トイレ砂の投入】

- ・本製品は固まった砂をアミで振るいにかけ、分別する方式を採用していますので、**必ず固まるタイプの砂をご使用下さい。また、砂の大きさが7mm以下で、鉱石系の砂をご使用下さい。**砂が大きすぎたり、鉱石系以外の砂(紙、木製)を使用すると、分別されなかったり、砂が詰まったりします。

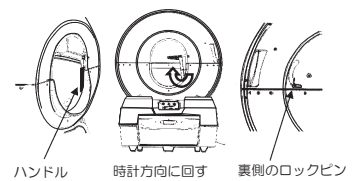
- ・砂を入れる際は出入口、または排泄ポートから入れて下さい。なお、砂の量はドーム内部の「Fill Line」を目安に入れて下さい。

出入口から入れる場合：出入口から直接砂を入れます。この際排泄ポートから砂がこぼれる場合がありますので注意下さい。

排泄ポートから入れる場合：ドームを土台にセットし、ポートハンドルを水平になるように上へ回します。

※必ずポートハンドルを上
げてからボタンを押して
下さい。

裏側のピンが引っかかった事を確認し、フィルボタンを押します。排泄ポートが上を向いた状態で止まるので、砂を入れます。入れ終わったら再度フィルボタンを押し、ドームを待機位置へ戻します。ポートハンドルを元の位置に戻して完了です。※排泄ポートから入れる場合は出入口にタオルなどをかけて塞いでおくと砂の舞い上がりが外へ出るのを軽減できます。



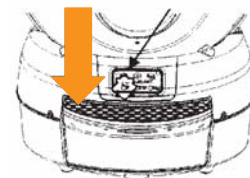
※砂を入れた後にクリーニングサイクルを実行すると余分な砂はコンテナへ排出されます。

また、砂の交換時に少量の古い砂を新しい砂の上にかけておくと慣れた臭いがあるので猫が安心しやすいです。

【動作確認】

- ・ACアダプターを接続し、電源スイッチを入れます。確認サイクルとしてクリーニングサイクルが一度行われた後、待機状態になります。
- ・ドームが待機位置に戻り、ウェイトランプが点灯している事を確認して下さい。
- ・ステップを手で押し下げます。センサーランプが点灯したらセンサーが機能している事になります。
- ・7分後、クリーニングサイクルが行われ、待機状態に戻る事を確認したら動作確認は終了です。

ステップを押し下げると
センサーランプが点灯します。



使用方法

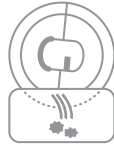
【サイクルの動き】



待機状態です



サイクルが始まるとドームが左回転を始めます



排泄ポートが下を向いて停止し、固まった砂をコンテナへ排出します



砂を排出後、ドームが右回転を始めます



砂を平らにならす為、待機状態より少し進んだところまで回ります



待機状態の位置まで戻ったら、サイクル終了です

【ステップセンサーの感度調節】

・ステップを押してもセンサーランプが点灯しなかったり、何もしていない時にセンサーランプが点灯したり点滅している場合はセンサーの感度調節を行って下さい。

①センサー調整の前に、ドームに適切な量の砂が入っている事を確認して下さい。

②ドームとコンテナを取り外します。※砂がこぼれないよう注意して下さい。

③ベース裏の黒い足がセンサー調節用ネジです。(図1)

「感度を上げる場合」：ネジを反時計方向に回します。

「感度を下げる場合」：ネジを時計方向に回します。

④コンテナとドームを元に戻します。

※ご使用になる猫の体重に応じて適切な感度に調節して下さい。

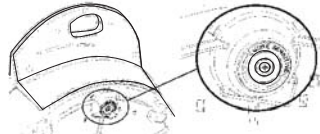
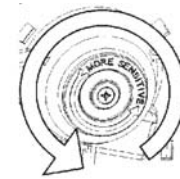


図1



「感度を上げる場合」
反時計方向に回す



「感度を下げる場合」
時計方向に回す

【ステップセンサーについて】

・本製品はステップで猫の重量を感知して動作します。よって、ご使用になる猫の**体重が約 2.2kg 未満ですと、うまく機能しない場合があります。**

また、設置場所がカーペットなどの柔らかい場所でもうまく機能しないので**必ず平らな固い地面の上**でご使用下さい。

※ステップセンサーが反応するのはステップに重量が加わった時です。ドーム内部に重量が加わっても反応しません。

・ステップセンサーが重量を感知してから7分後にサイクルが始まります。カウントダウン中に再度ステップセンサーに反応があった場合は、その時点から再び7分のカウントダウンが始まります。

・サイクル中にステップセンサーに反応があった場合はサイクルが一時停止し、15秒後にサイクルが再開されます。

その他の機能

【コントロールパネルのロック】

お子様やペットのいたずらを防ぐ為にコントロールパネルをロックする事が出来ます。ロック中もキャットロボットは通常通りに機能しますが、ボタン操作が出来なくなります。

・待機状態中にいずれかのボタンを10秒間押し続けるとロック状態になります。再度いずれかのボタンを10秒間押し続けるとロックが解除されます。

※ロック状態にしても見た目に変化は無いのでご注意ください。

【排泄ポートのカバー】

・排泄ポートにはカバーが付いておりますので、排泄ポートから猫が入り出来ないようになっております。また、排泄ポートからの砂が飛び散りを防ぐ役目もあります。サイクル時には自動で開閉します。

※カバーと排泄ポートの淵に多少隙間がある場合がございますが、カバーがスムーズに動く為の配慮です。不良ではありません。また、製品の構造上この隙間から少量の砂埃が漏れる場合があるのでご了承下さい。

【安全装置について】

「ステップセンサー」

・サイクル中に猫がドームに入ろうとしてステップに反応があった場合はサイクルが中断され、15秒後に再開します。ただし、そのままドームに入って15秒と砂が経過すると、猫がドームに入ったままサイクルが行われる恐れがありますのでご注意ください。



サイクル中に猫がドームに入ろうとして



ステップに反応があると一時停止します



15秒後にサイクルを再開します



ドームに入ったまま15秒が経過すると



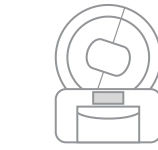
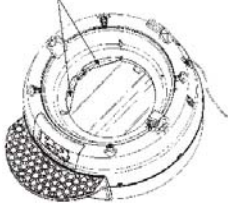
猫が入っていてもサイクルが開始する恐れがあります

その他の機能

「挟み込み防止ワイヤー」

- ・万が一猫がドームに入ったままサイクルが行われた時など、排泄ポートと土台の間に異物が挟み込まれた時は、ワイヤーセンサーが反応してサイクルが一時的に停止します。その後少し逆回転し、10秒停止した後サイクルが再開されます。

挟み込み防止ワイヤー



排泄ポートと土台に
障害物が挟まる

ワイヤーセンサーが
反応し一時停止

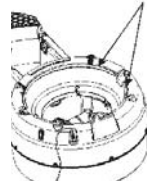
少し逆回転した
あと一時停止

10秒後にサイクル再開

【ベースシール】

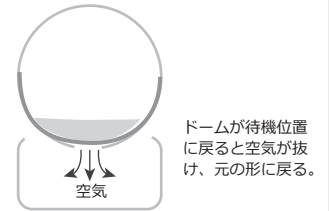
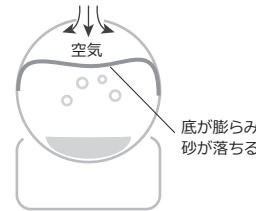
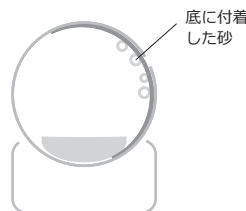
- ドームと土台の隙間を塞ぎ、臭いと砂埃が舞い散るのを抑えます。

ベースシール



【空気穴】

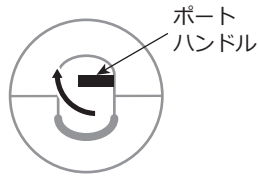
- ドーム下部のスリットから空気を取り込む事でドームの底を膨らませ、サイクル時に砂を残さず排泄ポートへ送ります。



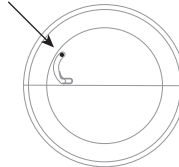
清掃とメンテナンス

【ドームを空にする】

- ・出入口内部にポートハンドルがあります。ポートハンドルを起こしながら、ドーム裏の黒い出っ張りをロックが掛かるまで手で押し下げてください。



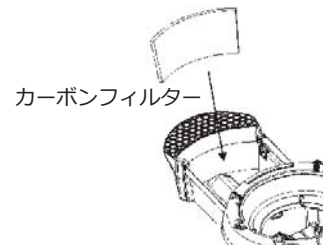
黒い出っ張り



- ・エンピティボタンを押すとドームが時計方向に回転し、排泄ポートが下を向きます。砂はコンテナへ排出されます。ドームに砂が付着している場合はブラシ等で落として下さい。
- ・ドームが空になったらもう一度エンピティボタンを押して、ドームを元の位置に戻します。その後、ポートハンドルも元の位置に戻します。

【ドーム / コンテナの清掃】

- ・ドームを空にしたら、土台から外します。コンテナも取り外し、カーボンフィルターと砂を取り除きます。
- ・ドームとコンテナは水やぬるま湯で丸洗い出来ます。ただし変形や破損の恐れがあるので、熱湯は使用しないで下さい。また、洗剤は中性洗剤を使用して下さい。
- ・金たわしや研磨剤付きスポンジは使用しないで下さい。またドーム内部やコンテナにはゴムシートを使用した部分があるので、破ったりしないよう注意して下さい。
- ・カーボンフィルターはブラシなどで汚れを取り除きます。水には浸さないで下さい。
- ・清掃後は必ず水気を拭き取り、しっかり乾燥させて下さい。リベット等の金属部品が錆びる恐れがあります。



【土台の清掃】

- ・土台を清掃する前に電源を切り、ACアダプターを取り外して下さい。
- ・土台は固く絞った布巾で表面を拭いて下さい。この際アダプター差し込み口を拭かないよう注意して下さい。
- ・土台は決して水に濡らさないで下さい。故障の原因となります。
- ・金たわしや研磨剤付きスポンジは使用しないで下さい。

エラー説明

- ・エラー時にはコントロールパネルのランプが点滅します。エラー内容によって点滅するランプ、点滅の仕方が異なります。エラーがおきた時は、一度電源を切り、各症状ごとの確認事項を確認して下さい。

【全てのランプが1秒に1回の間隔で点滅する】

ドームの待機位置が定まらず、モーターが動き続けた時の症状です。

- ・ドームがきちんとはまっているか（ギアとギア溝がずれていたりしていないか）。
- ・平らな場所に設置されているか。
- ・ギア周辺が酷く汚れていたり、すぐ近くに磁気を帯びた物が無いかな。

【全てのランプが1秒に2回の間隔で点滅する】

ドームがスムーズに動かず、モーターに強い負荷がかかった時、またはサイクル中に何回もセンサーに反応があった時の症状です。

- ・ドームのギア溝に障害物が詰まっていたり、ギアに汚れが絡まっていないか。
- ・出入り口のゴムが中に入り込んでいないか。
- ・猫がいたずらしていないか。

【センサーランプが点滅する】

ステップセンサーや挟み込み防止ワイヤーが反応し続けた時の症状です。

- ・ステップセンサーの感度は適切か（3ページ「ステップセンサーの感度調節」を参照）
- ・平らな場所に設置されているか。
- ・猫がステップに乗り続けていないか。
- ・ドームと土台に異物が挟まっていないか。

故障かなと思ったら

- ・キャットロボットの調子がおかしいと思ったら、修理を依頼される前に以下の点をご確認下さい。

【猫が用を足した後、7分経ってもドームが回らない】

- ・センサーの感度が低すぎる。→センサーの感度を調節して下さい。（3ページ「ステップセンサーの感度調節」を参照）
- ・カーペットなど柔らかい地面の上に設置している。→平らな固い地面に設置する。
- ・7分のカウント中に猫がステップに乗っている。→ステップに反応があるとカウントがやり直しになります。
- ・猫の体重が2.2kg未満である。→猫の体重が2.2kg以上でないと使用出来ません。※2.2kg以上でも静かに乗ると反応しない場合があります。
- ・猫がドーム内へ直接飛び乗っている。→ステップを踏まないとセンサーが反応しない場合があります。

【ドームが勝手に動く】

- ・センサーの感度が高すぎる。→センサーの感度を調節して下さい。（3ページ「ステップセンサーの感度調節」を参照）
- ・本体が傾いている。→平らな固い地面に設置する。
- ・猫がいたずらをしている。→猫が飛びかかった衝撃でセンサーに反応がある場合があります

製品情報

サイズ(約)：【本体】幅50×奥57×高74cm
【出入り口】幅17×高21cm
【コンテナ内寸】幅24×奥42×深15cm
【ドーム内寸】最大幅48×奥38×高38cm
重量(約)：8.1kg(砂は含まず)
材質：ABS樹脂
生産国：アメリカ
企画/デザイン：アメリカ
メーカー：Automated Pet Care Products Inc.



株式会社オーエフティー
〒666-0024
兵庫県川西市久代1-27-5
Tel：072-744-1017
Fax：072-744-1018
E-mail：oft-info@onyx.ocn.ne.jp
受付時間：平日9:15～17:00
土曜9:15～12:00
(第三土曜、日曜、祝日は休み)